

ばんけい

教育ほつとにゅーず
かわら版こみち
教育の小径

10月号

2012
OCTOBER
No.48

今月のこぼ

砕啄同時

「砕」とは鳥の卵がかえるとき、殻の中で雛がつつく音のこと、「啄」は母鳥が殻をかみ破ることで、雛は両者が同時に行われたときに出でます。教える側と教わる側が合致することの大切さを訴えています。

今月の記念日

貯蓄の日(10月17日)

1952年(昭和27年)、勤労の取組物であるお金を無駄遣いせずに大切にしようという願いを込めて、日本銀行が制定しました。この日は、伊勢神宮で取組への感謝の気持ちを込めてまつる、神嘗祭に由来します。



国士舘大学教授
北 俊夫先生

今月の
テーマ

授業における生徒指導

- 生徒指導は教科の学習指導においてもその機能を発揮するという考え方に立って、授業においても生徒指導を重視することが大切です。
- 授業における生徒指導の基本は、すべての子どもに居場所をつくり、子どもたちの良好な人間関係づくりに努めることです。

機能的な意味をもつ生徒指導

生徒指導と聞くと、多くの場合、基本的な生活習慣など子どもの生活面の指導、問題行動を起こさせない指導、問題行動を起こしたときの対処などを連想します。そのために、生徒指導のことを生活指導とも言われるように、学習指導に対比するものとして受けとめられています。これは生徒指導を領域概念としてとらえる考え方です。

それに対して、生徒指導は学習指導の場でも行われるという考え方があります。これは生徒指導を機能概念としてとらえる考え方です。

ここでは、後者の考え方に立って、授業における生徒指導のあり方や課題について考えます。

子どもたちにとって、学校生活の中心は何といっても授業です。授業の中で楽しくわかることを実感することなく、学校生活に対して充実感や達成感を味わわせることはできません。

毎日の授業において、一人一人の子どもに自己存在感や自己有用感を味わわせるとともに、子どもたちの学力向上を目指すとき、教科の学習指導にお

いて生徒指導を充実させることが求められます。このことは、授業において生徒指導を充実させることによって、生徒指導上の課題を解決することができることを意味しています。また、教科の学習指導を充実させることもできます。生徒指導と学習指導は相関関係にあり、相互に深くかかわり合っているとと言えます。

一斉授業で個に応じた指導力を

授業の場で子どもたちに居場所をつくることは、一人一人によさや得意分野を発揮する場を積極的に設けることです。このことによって、生き生き楽しく学習に取り組むようになります。

そのためには、教師が一人一人を観察し深く理解することが不可欠です。行動や態度などに表れた表面的なことだけでなく、子どもの内面をとらえるために洞察力を発揮します。子どもの何げない表情や心のさざ波を感じ取る鋭敏な感性が求められます。特に学習につまずきがちな子ども、遅れがちな子どもを見だし、その原因を把握するよう努力するとともに、その課題を解決するための手だてをとります。

こうした個に応じた指導力は、同質の少人数を対象にした場よりも、多様な子どもで展開される一斉授業の場で発揮されます。一斉授業における個に応じた指導力は、生徒指導の重要な機能です。教師が習得したい授業力のひとつだと言えます。

基本は子どもの人間関係づくり

学級集団は多様な子どもたちで構成されていることから、「小さな社会」と言われています。すなわち、学級は違いを認め合い、ハンデのある友だちを支え合い、様々な友だちと協力し合いながら共に学び合う集団です。

学習指導を通してそれぞれの教科の学力を身につけることはもとより、協力し合いながら学ぶことの意義に気づかせ、認め合い、支え合いながら学習することの大切さを学ばせます。そのためには、授業の中で協同作業やグループ学習など、友だちと協力し合いながら学習する活動場面を積極的に取り入れるようにします。

その意味で、授業における生徒指導の基本は、子どもたちの人間関係づくりにあると言えます。人間関係をつくるためにその中核としての役割を発揮するのは、もちろん教師です。教師の一言一言や一挙手一投足は、子どもたちの人間関係づくりに大きな影響を及ぼします。子どもたちは、支持的な雰囲気のある、温かい学習集団の中で伸び伸びと学習に取り組み、その結果学力を身につけていきます。

教えて!北先生

給食を食べるのが遅い子ども

Q. 予定されている給食の時間が終わっても、まだ食べ終わらない子どもがいます。残さず食べるまで待っているべきか、その時点で食べ終わらせたほうがよいのか、迷っています。担任としてどのように対処したらよいのでしょうか。

A. 時間内に食べ終わるようにすることは、教師の大切な指導内容です。しかし、学級には食べるという行為ひとつとってもさまざまな子どもが存在しているのは事実です。

食べ終わるのに時間がかかる子どもは、どの学級にもいるものです。まず確認したいことは、食べ終わらない原因を把握することです。そもそも食が細いなど小食である、その日の体調が悪かった、嫌いなものが多いなど、さまざまな原因が考えられます。原因によって、指導の手だてが変わります。

無理に食べさせることは慎みます。ひとつの方法として、盛りつける量を工夫します。すべての子どもを同じ量にするのではなく、それぞれの子どもの状況に応じて量を変えます。また、嫌いなものはすべて避けるというのではなく、時間をかけて少しずつ食べるよう促します。頑張ったときには心から褒めてやり、自信をつけるようにします。

保護者と連携し、協力を得ながら指導することが何よりも大切です。



教育の動向

学校安全の推進に関する計画

文部科学省は、平成24年4月に「学校安全の推進に関する計画」を策定しました。4月27日には閣議で決定されました。これは、学校保健安全法(第3条第2項)にもとづいて、平成24年度から28年度までのおおむね5年間の学校安全の推進に関する施策の基本的な方向と具体的な方策を明らかにしたものです。

本計画には、東日本大震災をはじめとする災害の教訓を踏まえ、生活安全、交通安全、防災教育を含めた災害安全の三つの側面から、国が

取り組むべき安全教育の充実や、地域社会や家庭との連携を図った学校安全の推進に関して具体的な方策が示されています。

本計画では、学校安全を安全教育と安全管理の面から押さえたうえで、学校安全を推進するための方策として、学校における安全教育の充実、施設・設備の整備充実、組織的な取り組み、地域社会や家庭との連携などがあげられています。

安全に関する教育については、主体的に行動する態度や共助・公助の視点、安全教育に係る時間の確保、避難訓練のあり方、情報社会への対応、原子力災害への対応など重要な方策が示されています。



コラム 北先生の授業力向上術

授業の「読み書き算」

「読み書き算」は子どもに身につける基礎学力です。この「読み書き算」は、教師に求められる授業づくりの基礎・基本でもあります。

まず「読む」について。授業力を高めるために関連する教育雑誌や教育書を読みます。先行実践から学ぶことは、優れた指導技術を受け継ぐ行為でもあります。学習指導案は、子どもたちの反応を先読みしながら計画されます。実際の授業は、子どもたちの心を読みながら展開されます。指導案が修正されることもあります。

次は「書く」こと。授業中、教師は黒板に必要な事項を書きます。これは板書するという行為です。板書の内容は、子どもの思考や理解の状況に大きな影響を与えます。板書には重要な役割があり、どう構造的に構成するかが問われます。教師の板書能力

は、重要な授業力のひとつです。

授業を分析するとき、授業記録をとります。これは授業の事実です。教師の発問や指示、子どもたちの発言や反応の様子をできるだけつぶさに書きます。授業記録やその分析の結果をレポートや小論文としてまとめることがあります。雑誌に投稿することもあります。いずれも教師の書く活動です。

最後は「算」です。計算するとは「はかること」、すなわち「物事を推し考える」ことです。授業における子どもの反応や授業の展開を予め計算しながら計画します。指導計画は「企画書」であり、「見積り書」です。



INFORMATION

全面改訂

新学習指導要領
完全対応

ワイド版

充実の付属
CD-ROM

生きる喜びをはぐくむ
ぶんげいの1~6年生の道徳

◎著者 真仁田 昭・長谷 徹
◎定価 児童書 560円 (本体価格)
教育用指導書 2,600円 (4冊)
◎発行 株式会社文溪堂



編集後記

今号で「教育の小径」は4周年を迎えました。ここまで続いたのも、毎号の執筆にご尽力いただいている北先生、そして毎月購読していただいている読者の先生方のおかげです。次号からは5年めに突入。新たな気持ちで「教育の小径」をお届けします。(H記)

企画・編集：ぶんげい教育研究所
発行：株式会社文溪堂
発行日：2012年10月1日